

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PCテクニック		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	PCテクニック	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ライブハウスコース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞			教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用				
授業概要					
Excel・Word・PowerPointといったマイクロソフト系ツールや、GoogleWorkSpaceの各種アプリケーションの入門～基礎操作、活用方法をオンデマンド授業で学ぶ					
到達目標					
授業内でのPC作業や、社会人になってから応用できるPCテクニックを身につける					
授業計画・内容					
【前期】 1～8回目	PCテクニック～Word編～				
【前期】 9～13回目	PCテクニック～Excel編～				
【前期】 14～19回目	PCテクニック～Google編～				
【後期】 20～24回目	PCテクニック～Google編～				
【後期】 25～27回目	PCテクニック～Google スプレッドシート編～				
【後期】 28～33回目	PCテクニック～PowerPoint編～				
【後期】 34～37回目	PCテクニック～Google スライド編～				
【後期】 38回目	PCテクニック～ Web会議ツール編～				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	キャリア講座Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	キャリア講座Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース/企画制作コース/アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	国際線客室乗務員・国内線客室乗務員として業務。退職後はフリーランス業界でマリッジコンサルタントとしての経験を積む。現在はチーフマネーインストラクターを務め、医療機関や介護・福祉施設、幼稚園・保育園、アパレル関連、IT関連企業など、幅広く研修を担当。グローバルマナースクールでも多くの講座を担当し、教材作成にも携わる。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義と実践ワーク、更にロールプレイングを通して、ビジネスマナーを体得する。 ・授業ごとに、言葉遣いの確認、小テストを実施し、習得度を確認。 ・応募先にむけた自己PR、志望動機作成、面接対応実施。履歴書・ES作成指導。 					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なビジネスマナーについて、[知っている]から[できる]さらに[いつまでできている]を目指す。 ・信頼感を伝えるために、「スキル」と「人格」の両輪を育てる。 ・自己理解を深め、アピールできる自分の強みを知り、将来のキャリアが描けるようになる。 					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	オリエンテーション/基本動作の確認/プレゼンテーションスキル向上				
【前期】 6～10回目	面接対応/自己理解① 興味と価値観/自己理解② 強み分析/企業で働くとは				
【前期】 11～15回目	コミュニケーションの応用/説明力向上/業界研究と志望動機				
【前期】 16～19回目	キャリア理論① クランボルツ/キャリア理論② ジェラット/トラブル対応力/就職活動シミュレーション				
【後期】 20～24回目	芸能業界で生き抜くためのキャリアビジョン/ビジネス文書の作成法				
【後期】 25～29回目	社内業務（指示の受け方/報告連絡相談）/社内業務（仕事の目的を考える）				
【後期】 30～34回目	会話術アップ/ロールプレイング				
【後期】 35～36回目	食事のマナー/メンタルヘルス				
【後期】 37～38回目	一年間のまとめ				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	教科書を毎週持参の上、受講のこと。教室内は飲食不可。配布プリントの取扱いに注意してください。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタメビジネス講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	エンタメビジネス講座	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	2001年に株式会社ドワンゴへ入社。部長職を経験後、音楽レーベル子会社へ転籍、プロデューサー職へ。ボーカロイドをはじめとするニコニココンテンツや声優・ラジオコンテンツのCDパッケージを数多く担当。現在はフリーランスとして、ネットやアプリの配信番組も多く担当、その他、動画の撮影編集、SNSを含めた運営及び運用、専門学校講師等に従事。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽だけではなく、エンタメビジネス業界全体の全体像や動きを学ぶ ・移り変わりの激しいエンタメ業界の今を知り、その波をしっかりと掴める思考を養う 					
到達目標					
エンタメビジネス業界の全容をしっかりと学び、企画～実行～拡散といった流れを自ら生み出す思考を持つ。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	エンタメビジネスの今と昔				
【前期】 6～10回目	【全体像】音楽レーベル、音楽出版社、マネジメント、プロダクション				
【前期】 11～15回目	【全体像】ライブ、イベント、テレビ、ラジオ、配信				
【前期】 16～19回目	エンタメビジネスにおけるSNS				
【後期】 20～24回目	エンターテインメントにおけるプロの裏方とは				
【後期】 25～29回目	権利関係の仕組み				
【後期】 30～34回目	制作費、売上、利益など金銭面の仕組み				
【後期】 35～36回目	プロダクションにおけるマネジメントについて①				
【後期】 35～38回目	プロダクションにおけるマネジメントについて②				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	パソコン講座Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	パソコン講座Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	音楽専門学校卒業後、レコード会社で宣伝、制作、マネジメントを経験。担当アーティストが紅白歌合戦出場。その後広告代理店でデザインを学び、当時担当していたアーティストの個人事務所にて、マネジメント、ファンクラブ、グッズデザインなどマネジメント全般を担当。現在はフリーランスのデザイナーとしても活動中。				
授業概要					
PCを使った資料・印刷物作成の技術を中心に、映像の編集などの技術、音声ファイル等のファイルの知識、Web制作など、PC技術について学ぶ。					
到達目標					
Photoshop、Illustratorを使ったフライヤーなどの印刷物の入稿データ作成や映像編集の技術の向上。 Web制作における技術の習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	Illustrator/Photoshop: 1年次の復習 Illustrator/Photoshop: 書類や印刷物の作成方法				
【前期】 6～10回目	Illustrator/Photoshop: アーティストフライヤーの作成 Illustrator/Photoshop: CDジャケット案作成				
【前期】 11～15回目	映像制作の知識と操作 音声ファイル等の知識と扱い方				
【前期】 16～19回目	imovie: 写真を利用した動画編集／動画編集、音声ファイルの切り出し、書き出し Premiere: 基本的な操作／動画編集／書き出し				
【後期】 20～24回目	Web用データ: Web対応の画像の作成およびデザインにおいての見せ方など				
【後期】 25～29回目	WordPress: UI/使い方/カスタム/プラグインを使ったフォーム作成 WordPress: 簡単なサイト作成/テーマ選び/デザイン案/カスタマイズ/完成				
【後期】 30～34回目	Web基礎: WEBと紙の違いについて Web基礎: WEB制作におけるの専門知識				
【後期】 35～36回目	Web制作: タグの使用ルール/基本的なタグ/サンプルページの作成 Web制作: 要素/属性/値/align/img/絶対パスと相対パス				
【後期】 35～38回目	Web制作: サンプルページ完成/illustrator&photoshopでWeb用画像素材の作成				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	随時プリント資料配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	デジタルマーケティング		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	デジタルマーケティング□	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	トロンボーン奏者。都内を中心に演奏活動のほか、楽曲制作、楽曲提供、レコーディングやマニピュレーション、エンジニアリング等の活動も精力的に行っている。また、それらの活動を通じて必要とされるSNS運用をはじめとしたデジタルマーケティングに関する講義もおこなう。				
授業概要					
エンターテインメント業界に求められるデジタルスキル獲得を目的とする授業。YouTube、Twitterなど各SNSを基礎から学び、バズ・炎上を理解して戦略的なSNS運用ができるようデジタルマーケティング・配信・企画のプレゼンテーションを学修する。					
到達目標					
インフルエンサーレベルでのSNSの戦略的なノウハウやデジタルマーケティングスキルを身に付け、SNSをビジネスの場で活用できる人材。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	SNS: SNSの基礎知識 目的 SNS: YouTube YouTube基礎(理解、運用方法、バズ観点)				
【前期】 6～10回目	SNS: Twitter Twitter基礎(理解、運用方法、バズ観点) SNS: Instagram Instagram基礎(理解、運用方法、バズ観点)				
【前期】 11～15回目	SNS: Tik Tok Tik Tok基礎(理解、運用方法、バズ観点) SNS: 炎上 & 誹謗中傷理解 対策検討(グループワーク)				
【前期】 16～19回目	デジタルマーケティング: デジタルマーケティングの基礎知識 デジタルマーケティング: ペルソナ分析、TAPS分析				
【後期】 20～24回目	デジタルマーケティング: 3C分析 デジタルマーケティング: マンダラチャート分析				
【後期】 25～29回目	デジタル配信: 音声配信(各サービス、運用方法、コツ) デジタル配信: ライブ映像配信(各サービス、運用方法、コツ)				
【後期】 30～34回目	ビジネススキル: ロジカルシンキング、プレゼンテーション デジタルマーケティング: カスタマージャーニーマップ分析				
【後期】 35～36回目	デジタルマーケティング: USP、SWOT分析 デジタルマーケティング: STP分析、自己分析				
【後期】 35～38回目	デジタルマーケティング: マーケティングフレームワーク分析① デジタルマーケティング: マーケティングフレームワーク分析②				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクション実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	プロダクション実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	152回(304単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限会社設立。主な業務としてマネジメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。				
授業概要					
1年次プロダクション実習Ⅰで決定したアーティストの協力の元、学生自身がマネジメント/レコードメーカー/ファンクラブの各セクションに分かれ、年間スケジュール作成/予算作成/スチール撮影/音源制作/MV制作/音源販売(CD・配信)/企画制作運営/広告宣伝等により売り出していく実践形式の授業。音楽業界で実際に行われている業務を一通り経験することができる。					
到達目標					
アーティストを中心とした、各セクション(マネジメント/レコードメーカー/ファンクラブ)の一連の様々な動きを学ぶ。 また、実際にアーティストを各セクションで担当していく中で、「どうすればそのアーティストの認知度を上げられるか」「円滑に物事を進めていくにはどうすればよいか」等について、実践の中で習得していく。					
授業計画・内容					
【前期】 1～76回目	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通してのスケジュールリング ・年間予算作成 ・アーティストプロデュース会議 ・音源制作(プリプロダクション～レコーディング) ・スチール撮影(アーティスト写真/ジャケット写真) ・企画ライブ制作～運営 ・MV撮影 				
【後期】 77～152回目	<ul style="list-style-type: none"> ・音源制作(ミックスダウン～マスタリング) ・音源流通(小売店への展開～配信での展開) ・広告宣伝 ・グッズ制作 ・会報誌制作 ・リリース記念ライブ(レコ発ライブ)制作～運営 ・1年間のまとめ 				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	各回の授業内容は、学生の立てた年間スケジュールや進捗状況により変動します。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクション実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則上表記	プロダクション実地演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。					
授業計画・内容					
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント				
2回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修				
3回目	外部企業見学				
4～5回目	ゲスト講師によるプロダクション・レコード会社授業				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライブ・イベント制作講座		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	ライブ・イベント制作講座口	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大手レコード会社にて宣伝やアーティスト担当業務に従事。その後、プロダクション業務を経て、現在はフリーランスでマネージメント、プロモーション委託、イベント制作委託を請け負っている。				
授業概要					
マネージャー・レコード会社・ファンクラブといったスタッフがライブイベントを制作するために必要な基礎業務を具体的に学ぶ。					
到達目標					
ライブイベントの運営方法を学び、ライブハウス規模でのイベントを自分たちで企画・運営できる知識と技術を身につける。					
授業計画・内容					
【前期】 1～9回目	企画会議/セクション分け				
【前期】 10～19回目	舞台進行:ステージセットや演出の有無に関して会議 運営・宣伝:出演者に資料請求の連絡/宣伝プラン会議と製作物の洗い出し及び製作				
【前期】 20～29回目	舞台進行:ステージセットや演出がある場合は入稿×切 運営・宣伝:出演者資料をまとめて各所に連絡/製作物完成及び配布や展開開始				
【前期】 30～38回目	企画制作ライブイベント①				
【後期】 39～41回目	舞台用語				
【後期】 42～51回目	楽器講座				
【後期】 52～61回目	現場の資料について解説:マニュアル全般/タイムテーブル/図面 現場の資料について解説:予算書/経費精算				
【後期】 62～71回目	舞台演出について 舞台上での決まりや動きの確認				
【後期】 72～76回目	企画制作ライブイベント②				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	随時プリント資料配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ファンクラブプロジェクト		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	ファンクラブプロジェクト	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大手のゲーム会社に入社し、ゲームグラフィックのデザインに従事。その後、フリーランスとして静止画グラフィックからアニメーションの制作現場経験、アートディレクター、プロデューサーとして数多くの作品に関わる。グラフィックデザインやWeb関連のイラストレーションも手がけ、現在はゲーム分野に関わらず幅広い分野の仕事をおこなう。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・会報誌やグッズの政策通じ、自らの好みではなく、「ファンの目線」にたった企画・運営力を養う。 ・ものづくりを企画や管理、広報などを通じて多くの人が関わって完成することを学ぶ。 					
到達目標					
アイデアの発掘方法やプレゼンテーション技術、チームマネジメントなどビジネス的に成功に導くための重要なスキルを身につける。					
授業計画・内容					
【前期】 1～9回目	意図説明／製作進行&デザイナーの仕事の違い／担当分け				
【前期】 10～19回目	企画進行:どんな企画か／誰のための企画か／意図 企画進行:狙うターゲット／どんな風に見てもらいたい				
【前期】 20～29回目	製作進行:企画絞り込み&予算組&販売計画 デザイナー:表紙、グッズロゴ作成				
【前期】 30～38回目	製作進行:アイテム決定～デザイナーへ発注 デザイナー:グッズデザイン				
【後期】 39～41回目	制作進行:販売計画／予算管理／資料作成 デザイナー:販売POPデザイン				
【後期】 42～51回目	プレゼンテーション準備				
【後期】 52～61回目	プレゼンテーション本番 展開・販売準備				
【後期】 62～71回目	展開・販売				
【後期】 72～76回目	結果振り返り(利益、客層、リアクション、展開など含めた反省点と改善点)				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	随時プリント資料配布				